

免疫バイオティクスによるワンヘルスケアフード事業

代表機関：農研ワンヘルス株式会社

共同研究機関：農研機構

実施年度：2022年度～2026年度（フェーズ0～2）

キーワード：乳酸菌、ワンヘルス、個別化ケア

研究代表者：大池秀明



国内最大級のNARO乳酸菌コレクションを活用し、動物種や個人にフィットした乳酸菌を提供する。利用者の特性やヘルスケアデータに合わせた個別化戦略を取りつつ、ヒトから家畜・ペットまで、ワンヘルスの幅広い視点で、高齢化やアニマルウェルフェアなどの社会課題に対応する。

背景・目的

最適な“食”はそれぞれ

同じものを食べても、その生体反応は動物／個体／個人によって異なる。また、同じ個体／個人においてもライフステージによって最適な食は変化する。とくに健康に直結する免疫機能は、生活習慣や食習慣、体調などによっても変動する。食から健康を実現するためには、個々の特性に応じた選択と提供の仕組みが必要である。

目標

ワンヘルスに、かつ、個別に

上記ソリューションの1つとして、多彩な乳酸菌によるヘルスケアフードの提供を目指す。乳酸菌は、免疫調節機能を中心に、様々な健康効果を発揮する一方で、多種多様であり、その効果を十分に引き出すためには利用者とのマッチングが重要になる。動物種による個別化から開始し、系統、個人/個体レベル、ライフステージや体質、生活習慣に応じた乳酸菌の提供を可能にする技術開発を進める。

研究内容

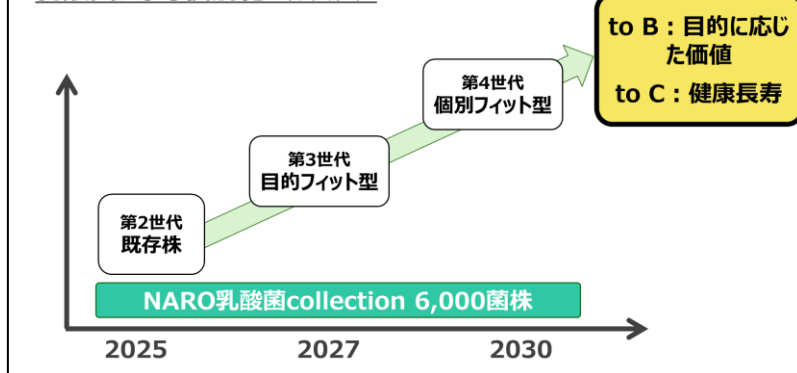
動物種や属性に応じた乳酸菌の選抜

✓ ペット、家畜、人のそれぞれの動物種に応じた乳酸菌を選抜する技術の開発

✓ 乳酸菌の効果を見える化して、マッチングする技術の開発



乳酸菌による個別化ヘルスケア



各分野との協業による実証と運用

<代表機関概要> 農研ワンヘルス株式会社

■ HP: <https://www.naro-oh.jp>

■ 所在地: 茨城県つくば市池の台 2

■ 連絡先: 090-1671-1469



ONE HEALTH
農研ワンヘルス

令和8年4月6日時点